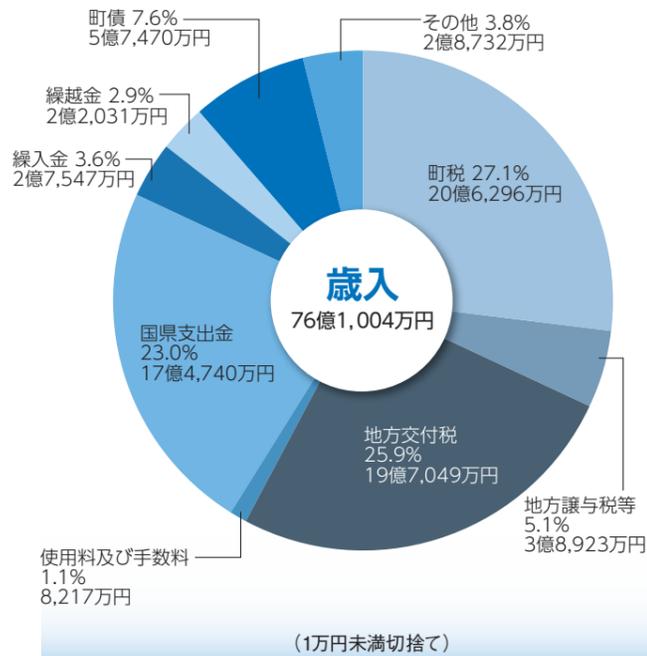
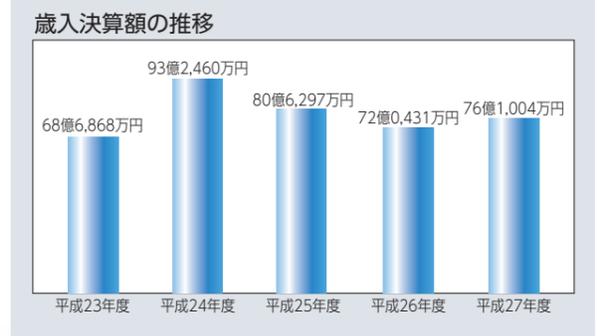


# すべての会計決算を認定

## 歳入



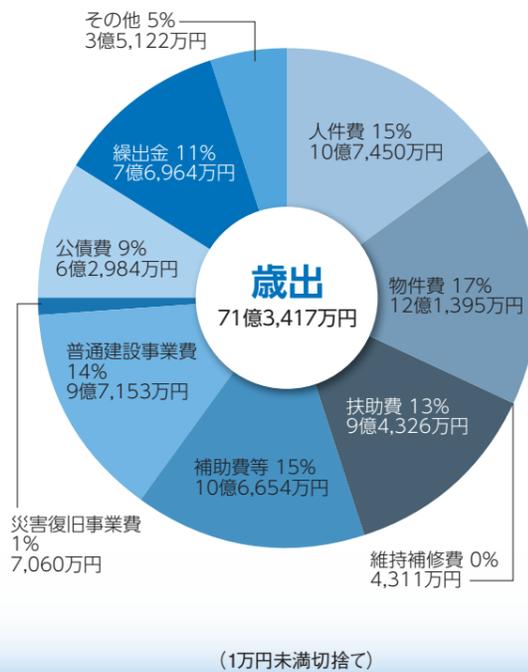
法人町民税の減により町税が総じて減となりましたが、地方交付税、国県支出金等の増により前年と比較すると5.6%、約4億円の増となりました。



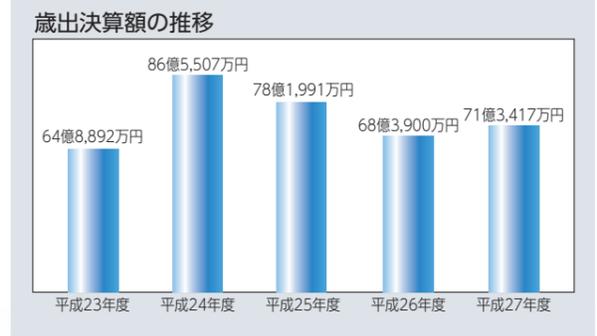
町長からの議案説明の様子

9月定例会は、9月27日から30日の4日間の会期で開かれました。定例会では、平成27年度の決算認定について、決算特別委員会に付託し、審議され、その他、平成28年度各会計補正予算、条例の制定、人事案件の議案を慎重に審議しました。

## 歳出



ふくしま森林再生事業の農林水産事業費や社会資本整備総合交付金事業土木費の減。地域創生関連事業を中心とした総務費、除染対策事業費、地域消費喚起型事業による商工費などの増により、前年と比較すると4.3%、約2億9千万の増額となりました。



## 会計別決算額

(1万円未満切捨て/△はマイナス)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	76億1,004万円	71億3,417万円	4億7,587万円
特別会計			
国民健康保険	18億9,779万円	17億8,663万円	1億1,116万円
後期高齢者医療	1億2,978万円	1億2,815万円	163万円
介護保険	12億8,219万円	12億3,772万円	4,447万円
簡易水道事業	7,392万円	7,368万円	24万円
公共下水道事業	2億6,720万円	2億6,524万円	196万円
農業集落排水事業	7,635万円	7,504万円	131万円
霊園整備事業	72万円	63万円	9万円
小計	37億2,795万円	35億6,709万円	1億6,086万円
一般・特別会計決算合計	113億3,799万円	107億126万円	5億3,673万円
上水道事業会計(消費税抜き)			
収益的収支	4億982万円	3億6,451万円	4,531万円
資本的収支	1,813万円	1億7,929万円	△1億6,116万円

※資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補填されています。

# 棚倉町一般職の 任期付職員の採用等に関する条例が制定

案議ど  
議審な



## 条例の制定

### 棚倉町一般職の任期付職員の採用等に関する条例

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、任期付職員を任用するにあたり、職員の任期を定めた採用及びその任期を定めて採用された職員の給与の特例に関して、必要な事項を定めるための条例の制定です。任期付職員制度は、県内外の市町村においても条例化し、広く活用されています。

### ※任期付職員とは

地方公共団体の行政運営について、「本格的業務に従事する者」として位置付けられ、相応の給与や休暇等の勤務条件が適用されるほか、3年ないし5年以内という複数年の任期を設定し雇用する職員です。任期付職員は、特定任期付職員（高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者）、一般任期付職員（専門的な知識経験を有する者等）、任期付短時間勤務職員に分けら

れます。

特定任期付職員はIT技術者や医師等を雇用する場合、一般任期付職員は幼稚園教諭や保健師等を雇用する場合、任期付短時間勤務職員については住民票交付業務や税証明発行業務等の窓口業務等で雇用する場合に活用し、その採用方法については、採用試験を受験していただき合格者を採用します。

### ※建設経済常任委員会の閉会中の所管事務調査を追加議案で決定

6月定例会でも6人の議員が質問した企業誘致問題について、今回の9月定例会において、閉会中も委員会の活動ができるように決定しました。「棚倉町における企業誘致政策について」をテーマに挙げ、今後、当委員会によりこの問題を提起していきます。



## 決算審査

### 意見書(抜粋)

審査の結果、一般会計・特別会計とも、総合意見として健全化判断比率は適正に算定されていると認められた。また、その算定の基礎となる事項を記載した書類は、法令に準拠して適正に作成され事務処理をされている。上水道事業会計についても、適正に経理されていると認められる。

是正改善を要する事項については、特に指摘すべき事項はないので、今後とも、適正に執行され処理されるようお願いする。

監査委員 藤田啓一朗  
藤田 智之



# 様々な視点から質疑が行われました

平成27年度 決算特別委員会質疑 (抜粋)

## 一般会計

### 歳入

質問 ふるさと納税はいくらくらいあったのか。

答弁 8,065,000円。

質問 剰余金で、約4億円がある理由は。

答弁 主に、扶助費関係や工事等の精算の関係によるもの。

質問 白河広域圏滞納整理組合が差し押さえた金額は。

答弁 9,172,595円の徴収金(滞納分)があった。

### 歳出

質問 何らかの理由で行政区を抜けた宅への配布物などの行政の対応は。

答弁 年度当初に配布する「暮らしのカレンダー」「ゴミ回収日程表」は送付しているが、毎月発行の広報紙などは、役場も含めて各施設にあるので、それを取りに寄つてもいい。

質問 友好の森林づくり事業の新たな展開は考えていないのか。

答弁 川越市との共同事業のため川越市と協議し平成29年度については事業を展開していきたい。

質問 棚倉町観光ガイドの試験を受けた延べ人数と、合格された人数は。

答弁 観光ガイドになるためには1級合格者となるが、受講者は9名、うち2人合格、延べの合格者は13人になる。なお、2級の受験者は13人。

質問 棚倉応援大使の現在の登録者数は。

答弁 平成28年8月現在で40人。

質問 保健センターの維持管理に係る経費が多額であるが、太陽光パネルの活用はどのようにになっているのか。

答弁 現在はガスで冷暖房を使用。電気に切り替えるには多額の経費になる。また、太陽光は蓄電式のため通常業務には適さない。

質問 図書館指定管理委託について、町は管理、監視をしているのか。

答弁 毎月1回、図書館と委託先の活性化協会、そして生涯学習課で月例会を開催し意見の交換等を行っている。

質問 図書館で働く方々の待遇はどのようになっているのか。

答弁 役場の臨時職員と同じである。

質問 ルネサンス棚倉の改修工事の内容について

答弁 当初に計上した工事のほか、施設老朽化により突発的にあった工事など。

### 国民健康保険特別会計

質問 国保税の収入未済額が昨年と比較すると改善されているが、その要因は。

答弁 引き下げられたこと、ひとつの要因と考えられる。



活発な質疑がなされた決算特別委員会の様子

Q



なぜ、わざわざ特別委員会を設置して審議するんですか？

より深い質疑を行うために設置しました。本会議(議場)では、質問は3回までと決まっています！



A

# 町政を問う

9月定例会では9人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は主に、湯座町長2期目に関連する内容など。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。

## 1 菊池 忠二 議員 …… 8ページ

1. 9月4日開票、棚倉町町長選挙の結果について問う
2. 選挙戦での公約である10年先を見据えた施策について問う
3. 子育て環境の充実問題、特に幼稚園の対応について問う
4. 家庭のゴミ回収について問う

## 2 和知 裕喜 議員 …… 9ページ

1. 旧白棚線自動車道の払い下げ活用について
2. 町立近津小学校周辺の道路整備について
3. ふくしま森林再生事業の取り組みについて

## 3 蛭田 卓雄 議員 …… 10ページ

1. 歴史的遺産の活用と観光誘客対策を問う
2. ふくしま森林再生事業を問う
3. 企業誘致を問う
4. イノシシ駆除対策を問う

## 4 須藤 俊一 議員 …… 11ページ

1. 町長2期目の所信を問う
2. 棚倉町における各種委員会等の選任の方法について
3. 地方自治法92条の2議員の兼業禁止について

## 5 古市 泰久 議員 …… 12ページ

1. 鳥獣被害の実態と捕獲隊の状況について問う
2. 交通不便地域の解消と高齢者の交通弱者対策について問う
3. 農道及び、農業用排水路の維持管理に伴う、原材料支給の対応について問う
4. 町営弓道場の建設計画について問う

## 6 佐川 裕一 議員 …… 13ページ

1. 湯座町長の政策を問う
2. 国道289号線と県道黒磯棚倉線整備について
3. 東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致について

## 7 藤田 智之 議員 …… 14ページ

1. 待機児童の解消と第2子からの無料化は
2. ゴルフ場の振興に取り組むべきではないか
3. マイナンバーカードの利用の推進は

## 8 鈴木 政夫 議員 …… 15ページ

1. 企業誘致に本気で取り組むべきと思うかどうか
2. 効果的なイノシシ対策について
3. 学校給食費の無料化について

## 9 藤田 光子 議員 …… 16ページ

1. 子どもセンターの内外事情について
2. 観光案内板について
3. 幼稚園の3年保育試行の現状と今後について



正算  
補予

除染対策・役場駐車場用地取得費など  
一般会計1億7610万円を増額

### 補正予算の主な内容

#### ◇一般会計

**歳入**  
地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金、諸収入、町債などの増額補正です。

#### 歳出

農林土木災害普及費をはじめ、組織機構改編等に伴う人件費、役場駐車場用地取得費、除染対策事業費、観光施設管理費、消防施設修繕費、小中学校備品購入費等の増額のほか、当面する事務事業経費の補正です。

#### ◇国民健康保険特別会計

県とのデータ連携のためのシステム改修費、職員の人事異動に伴う増額補正です。

#### ◇介護保険特別会計

平成27年度の精算に伴う返還金などの増額補正です。

#### ◇簡易水道事業特別会計

棚倉町水道ビジョン策定業務委託費及び、山岡簡易水道施設の工事費の増額補正です。

#### ◇公共下水道事業特別会計

棚倉町下水道事業経営戦略プラン策定業務委託費、公共樹設置工事の増額補正です。

#### ◇農業集落排水事業特別会計

人事異動による人件費の減、棚倉町下水道事業経営戦略プラン策定業務委託費の増等による減額補正です。

#### ◇上水道事業会計

人事異動による人件費、棚倉町水道ビジョン策定業務委託費増額補正です。

### 9月補正予算の状況

会計名		補正額	1万円未満切り捨て 補正後の予算額
一般会計		1億7610万円	70億1625万円
特別会計	国民健康保険	89万円	17億5403万円
	介護保険	4677万円	13億9254万円
	簡易水道事業	1615万円	1億605万円
	公共下水道事業	344万円	2億7678万円
	農業集落排水事業	△85万円	7256万円
上水道事業会計	収益的収入	250万円	4億2941万円
	収益的支出	1222万円	13億9265万円

### 人事案件

棚倉町教育委員会  
教育長の任命



松本 市郎さん  
(玉野)

棚倉町教育委員会  
委員の任命



益子 秀一さん  
(戸中)

### 問 棚倉町長選挙の結果について問う 答 責任の重さを強く実感している

**問** 投票率が昭和40年以降最低の記録を更新した事について。  
**町長** 投票率は20代が20%後半、30代が30%そこそこだった。若い世代に関心を持てるような対策が必要。

**問** 町長選は、埴町長選の様に町を二分、三分して戦うのが民主主義の基本、そしてその洗礼を受けたと思うがどうか。  
**町長** 社会貢献である、それぞれの候補が政策を訴え、町民がこれからの棚倉町をどうして行くか考える場にもなるので必要。

**問** 町長公約である10年先を見据えた施策について問う  
**答** 第6次振興計画を将来像として進めて行く

**問** 人口減少の特効薬である企業誘致に於ける用地について、いわばモデル商品の無いオーダーメイドで進めて行く

イド方式のセールズをこれからも続けて行くのか。  
**町長** 工業団地を造成、保有するリスクより、これまで通り企業の要望に応じた対応をして行く。  
**問** トップセールス即断即決の時代、副町長2名制、又シンクタンクの養成が視野に入ると思うが。  
**町長** 現在副町長は職責を果たしており2名制は考えていない。シンクタンクについて、縁のあった全ての人々に知恵を頂いている。

**問** 産業サポート白河の効果検証について問う。  
**産業振興課長** 連携をとりながら進めていく。  
**問** 人口減少に歯止めをかける為、町全体の魅力を高め、その上で住居は求めやすい、お徳のある相反する調整はこれからの地方



大勢で賑わった秋祭り

行政の宿命だと思うが。  
**地域創生課長** 振興計画に基づき、子育て、企業誘致等が一体となって定住人口の増加を計って行かなければならない。

**問** 子育てしやすい幼稚園  
**答** 保護者から、意見や要望等を聞き検討していく



幼稚園3歳児芋の収穫祭

**問** 子育てを初めて間もない親は、2人目、3人目の出産と女性の人生設計に、又、人口減少の鍵を握っていると思うが。  
**地域創生課長** 入園児の推移を見て、クラスの数、増築など、環境整備を振興計画・実施計画で反映させていく。

**問** 各家庭の燃えるゴミ回収は週1回と2回の所があるが、平等に全地域週2回の回収は可能か  
**答** 効率的な運用上不可能

### 問 旧白棚線自動車道の払い下げ活用について 答 町道として活用する考えはない



手つかずのまま残されている旧白棚線

**問** 道路沿線、特に松木地区の土地利用の可能性が高まり開発発展に寄与すると思うが。小菅生、金沢内等は中心部まで近くなり利便性が高まると思うが。  
**町長** 経済波及効果や利便性は一般的な道路改良と同様に、道路沿線の土地利用の可能性が高まる事が考えられる。

**問** 町中より白河方面(県の出先機関)への距離と時間が短縮され利便性が高まると思うが。  
**町長** 利用者には、白河方面への距離の短縮が考えられる。

**問** 払い下げを受けて町道として活用すれば、長期的にみれば町の発展に寄与すると思う。町道として活用する考えがあるか。  
**町長** 道路の拡幅工事や防護柵などの安全施設を設置など、多額の費用が必要、維持管理費も生じる。厳しい財政状況を考慮すれば、町道として活用する考えはない。

**問** 近津小学校周辺の道路整備について  
**答** 校庭東側歩道は児童が通行しないので必要はない

**問** 県道近津停車場線の小学校側の歩道の新設について。  
**教育長** 学校、PTA役員の方々と協議をした結果、校庭東側は児童が通行しないので必要はない。



**問** 町道六石平桃木田線の歩道整備(修繕)について。  
**町長** 改修工事を平成29年3月までの工期で現在発注している。  
**問** 県道と町道交差点の横断歩道北側の電柱を東側に移動できないか。  
**町長** 相当の費用が掛る事から当面の措置として車両への注意を喚起する為カラー舗装を施工した。

**問** 町道六石平桃木田線のバス停留所整備について。  
**教育長** 学校やPTA関係、関係部署と協議し安全の確保に努める。  
**問** 事業計画は平成29年度で終了するのか。  
**町長** これまでの進捗状況を踏まえ、事業が完了出来るよう事務を進める。

**問** 平成30年度以降の森林再生事業計画があるのか。  
**町長** 県は平成32年度まで事業を延長する方針である。通知があり次第、次期計画の対応を検討する。



和知 裕喜



菊池 忠二



改めて、所信表明する町長

### 問 歴史的遺産の活用と観光誘客対策は 答 関係機関と連携し積極的に取り組む

**問** 国指定後は、住民の意見を計画作成に取り組むべきと思うが。

**町長** 棚倉城跡保存活用計画を策定し保存管理・整備活用を進め、計画策定の中で意見を反映する。

**問** 史跡を生かした観光誘客対策は。関係機関、団体等で推進に向けた協議を行っているのか。

**町長** 歴史資源をPRするため、全国京都会議に加入し、また日本橋に設置の福島県の物産館において観光PRや物産品の販売を通し情報発信し、歴史資源の魅力を感じて頂くイベントを実施、今後とも関係機関と連携を図り積極的に取り組む。

**問** ルネサンス棚倉との連携及びPR事業は。

### 問 町長2期目の所信を問う 答 第6次振興計画により町づくりを進める

**問** 2期目の実施計画と、町の方向性をどのようにもっていくのか。

**町長** 住民が主役、安心で優しい、誇りと愛着の持てる町づくりを基本理念として、自立と協働の視点で進めていく。

**問** 町まるごとミュージアム事業を更に充実を図るには、各地区の歴史的遺産の計画的な整備が重要と考えるが。

**町長** 今年度から三カ年で「歴史文化基本構想」策定の中で検討してまいりたい。



棚倉の昔「歴史」を語り合った「奥州棚倉藩評定」

### 問 企業誘致を問う

**答** 情報交換、収集に努めたい

**問** 誘致活動状況と昨年の誘致実績、企業懇談会等の意見をどう

受け止めているのか。

**町長** 誘致実績は3社。町内企業訪問の実施や福島企業立地セミナー等の参加企業へのPRや情報交換、収集に努めたい。

**問** 団地造成が必要と思うが。

**町長** これまでどおり企業の要望に応じ用地の確保により対応。

**問** 企業誘致推進委員は3月31日で終了し、その後、どの様な対応をしているのか。

**町長** 新たな企業誘致推進体制の再構築について検討中。

### 問 イノシシ駆除施策を問う

**答** 捕獲できる区域までおいだし対策を講じている

**問** 捕獲頭数、出勤回数は平成27年及び平成28年4月から8月末の比較状況は。



蛭田 卓雄

**町長** 平成27年、捕獲頭数36頭、出勤数46日。平成28年77頭、116日。

**問** 活動費と報償費について、平成27年及び平成28年4月から8月末の比較状況は。

**町長** 平成27年活動費34.2万円、報償費66万円、平成28年活動費支出無し、報償費14.2万円。

**問** 捕獲隊から意見要望事項等があるのか。対策会議等の開催をしているのか。

**町長** 許可書の発行、活動費・報償費の交付と連絡体制の構築の要望がある。対策会議は、5月、8月に実施。

### 問 ふくしま森林再生事業を問う

**答** 森林整備事業は、平成32年まで事業延長の方針

付申請時に役員名簿の提出を求めているため把握していない。

**問** 町と請負契約が行われている事業所に議員が役員として在しているのか。

**総務課長** 現在では、情報が少ないため把握は難しい。

**問** 棚倉町議員として、兼務が好ましくない町内の役職はあるのか。

**町長** 兼業禁止にあたるのは、教育委員、選挙管理委員、固定資産評価審査委員、町長、副町長、常勤の職員等となる。



須藤 俊一

### 問 棚倉町における各種委員の選任の方法について

**答** 法律、条例等の趣旨により適切に行われている

**問** 非常勤特別職の委員、重複する人数は。また、主な役職等は何か。

**町長** 非常勤特別職の人数は292名、重複する方は23名。役

### 問 「地方自治法92条の2」議員の兼業禁止について

**答** 町議会議員が役員を務める団体の把握はしていない

**問** 町が補助金を交付している団体の数、役員をしている議員の人数は。

**町長** 町補助金交付団体の数は、165団体、うち議員が役員を務める団体の把握は、補助金交



### 問 高齢者の交通弱者対策は 答 次年度以降に実証運行を実施し検証

**問** 交通不便地域の現状については。  
**町長** 町民の約4割の方が交通不便地域に住んでいると把握している。

**問** 町公共交通網形成計画の実行計画の進捗状況は。  
**産業振興課長** 今年度から準備調査が始まり、次年度には実証実験を行う。内容については、タクシーまたは、バスになるのか。巡回型かデマンド型になるのか検討中である。

※デマンド型とは…事前に予約をして利用する相乗り型

**問** 町営武道場の建設について  
**答** 財政面で厳しい状況にあるが検討していく



屋外での大会開催風景

**問** 昨年6月定例会での町長答弁では、今後の動向を踏まえながら検討していくということであったが。  
**教育長** 競技人口の問題や多額の建設費用等が必要なため建設については厳しい状況にある。今後の競技人口の拡大を図りつつ、国等の補助金の活用を検証しながら検討していく。  
**町長** 町長になってから2度要望を受けている。教育長答弁のとおり検討は重ねられているものとして理解している。

**問** 農道及び農業用排水路の維持管理の原材料支給について  
**答** 行政区長からの申請に基づき支給している

**問** 原材料の支給根拠と基準については。  
**町長** 町道以外の生活道路の支給基準を準用して維持管理の支援をしており、生コン、敷砂利は12立方メートルを目安にしている。

**問** 多面的機能支払交付金認定団体の行政区には、生コンや農業用排水路改修等の現物支給の区域から除外されているがその線引きは。  
**町長** 認定団体における協定対象区域の維持管理補助には原材料は支給しない。区域外については、行政区からの申請を受けて原材料を支給していることで区別している。

**問** 認定団体は、これらのハード事業は認可されていない。行政区と一体のものではないのでは。  
**町長** 県とも協議し検討していきたい。



古市 泰久

### 問 湯座町長の政策を問う 答 状況に応じて必要な政策を展開

**問** 今後考えている政策は。  
**町長** 住民が主役のまちづくり、安心で優しいまちづくり、誇りと愛着の持てるまちづくりの基本理念のもと、子育て支援、健康づくり支援、人口減少対策、雇用の場の確保など、状況に応じて必要な政策を展開してまいりたい。

**問** 国道二八九号線・県道黒磯棚倉線整備を問う  
**答** 国道二八九号線では金沢内地区の側溝整備、黒磯・棚倉峠トンネル化の計画調査について要望

**問** 国道二八九号線・黒磯棚倉線の今後の整備計画は。  
**町長** 本町において要望している箇所は、国道二八九号線では金沢内地区の側溝整備、黒磯・棚倉線では栃木県・福島県境における

狭隘・急勾配区間を解消するため戸中峠トンネル化の計画調査。

**問** 国道二八九号線は白河市の四車線化の延長と、棚倉町からいわき市までの整備等が棚倉町にとって望ましいと考えられるが、今後の見通しと町からの働きかけは。  
**町長** 四車線化の延長については、事業化の見通しは立っていない。また、鮫川村の渡瀬バイパスなど、事業に着手している箇所もある。今後さらに国道二八九号線建設期成同盟会による要望活動を実施してまいりたい。

**問** 黒磯棚倉線の戸中峠の整備が進まない。町ではどう考えるか。  
**町長** 毎年、県南建設事務所との企業調整会議や、道路整備促進期成同盟会による要望活動において、栃木福島両県に対し、早期整備要望を行っているが、事業化には至っていない。しかし、栃木福

**問** 東京オリンピック、パラリンピック合宿誘致を問う  
**答** 観光面とか、そういったものを検討

島両県を結ぶ重要な役割を果たす路線でもあるので、今後、早期に整備が実現できるように、要望活動を実施してまいりたい。



規格適合改修に多額の費用がかかるルネサンス棚倉ホッケー場

**問** イノシシ被害の実態と捕獲隊の状況について  
**答** 被害実態は、水稲のなぎ倒し、大豆の掘り起し等が主な被害であり、捕獲金額、報償費は堅持したい。併せて、カワウ捕獲奨励金についても近隣市町村へ確認し検討する



**問** 今までの誘致活動の内容と現在の状況は。  
**教育長** 「ルネサンス棚倉」多目的広場と総合体育館及び棚倉田舎倶楽部の三施設を誘致施設として、福島県スポーツ課に要望している。



佐川 裕一

**問** 現在の町の多目的広場の人工芝を規格に合うものにしたら、予算的には。  
**生涯学習課長** 一面当たり二億五千万円から六千万円程度の費用が必要。

**問** このまま厳しいということと、別な方向性で何か違うことを考えていることがあるのか。  
**生涯学習課長** 観光面とか、そういったものを検討していきたい。

### 問 待機児童となる要因は 答 保育室(施設面積)が不足しているため

**問** 新たな保育園の概要と進捗状況は。現在の待機児童の状況とその要因は。今後、待機児童は解消されるのか。入園基準指数の公開は。

**教育長** 新園舎は木造平屋建てで、約1,400㎡を予定しており、定員を現在の140名から150名に増やし、最大180名に対応する予定である。現在土地3,253㎡を取得し造成中で、来年度に完成させ、引っ越しなどの準備期間を経て平成30年3月の開園を目指している。現在、待機児童は14名。要因は0歳児の利用希望者が多いため、施設面積の受け入れ可能人数に制限がある。新園舎の建設を機に待機児童の解消に努めたい。基準指数は、要望に応じ個別に説明しているが、今後は公開も検討したい。



造成が完了した保育園予定地

フ場の為に発生する財政需要の為のものである。全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会が十月に開催され、テレビでも放送されるので、関係機関と連携し、本町の魅力の発信に役立てたい。  
**教育長** ゴルフ振興の為にこれまで各種大会の支援に取り組んできた。振興は民間組織で取り組んで頂きたい。総合型地域スポーツクラブに、ゴルフ教室の開催も要望し、関係機関とジュニアの育成なども検討したい。

**問** ゴルフ場利用税での振興策は

**答** ゴルフ振興目的の物ではない

**問** 3か所のゴルフ場があり、納税や交付金もある。競技人口の減少など課題も多いので、振興に取り組むべきではないか。

**町長** ゴルフ場利用税交付金はゴルフ振興の目的ではなく、

**問** コンビニ交付の費用は

**答** 年間、約524万円

**問** マイナンバーカード、利用の推進にどの様に取り組むか。自動交付機からコンビニ交付で、費用はどう変わったか。

**町長** 取得、利用などの目標は定めていないが、二月から全国の



コンビニでの各種証明書の交付機



ふじ とも ゆき 藤田 智之

### 問 企業誘致の為に旧白棚線の払い下げを 答 旧白棚線の払い下げは考えていない

**問** 京セラが撤退する事態がおこったが、これは企業誘致と裏表の問題である。本町では近年、目立った企業誘致が実現していない。その原因はどこにあるのか。本気になって誘致する決意が見れない。役場では専門の担当職員がない。しかも土地はオーダーメイド方式であり本格的に誘致に取り組んでいるようには思えない。

**町長** 企業誘致の強化のための商工観光係から商工係に独立させた。また、本町は以前からオーダーメイド方式であったので今後この方式で行っていく。なお、旧白棚線の払い下げは考えていない。



通行止めになったままの旧白棚線

**問** 効果的なイノシシ対策について

**答** 後継者育成支援など、県、県猟友会及び郡の対策協議会などとの関係機関と連携していく。

**問** 近年のイノシシによる農作物の被害は深刻になっている。し



捕獲されたイノシシ

かし、捕獲報奨金や活動隊への活動費の支給が遅いとの批判がある。また、県は認定管理鳥獣捕獲事業として、1頭当たり2万3千円を支払っている。町も同額にできないか。  
**産業振興課長** 県の認定管理鳥獣捕獲事業の中身を確認して検討していきたい。また、6月定例会で質問のあった電気柵の貸し出しは3カ月に変更した。

**問** 学校給食の無料化の実現を

**答** 現在、実施することは考えていないが子育て支援の提言として受け止めている



すず き まさ お 鈴木 政夫

**問** 学校給食の無料化について、郡内の現状を見ると、矢祭町、鮫川村ではそれぞれ助成金を出しており、今回新たに埴町では町長が議会の同意を得られれば来年度から無料化を実現したいと表明した。棚倉町ではまだこの問題については手つかずと言っている。6月定例会で町長は、新たな子育て支援の一つとして考えていきたいと答弁があったが、その後、どのような見解を持っているのか。

**教育長** 給食費の無料化については現在、実施する考えはない。  
**町長** 教育長答弁のとおりであるが、学校給食費無料化は子育て支援の提言として受け止めている。

### 問 子どもセンターの内外事情について 答 引き続き円滑な運営体制を整えていく

**問** 駐車場から子どもセンターに入るための安全配慮について。  
**教育長** 安全を図るため利用者の現状把握を行い、警察署や関係部署と協議して安全確保に努める。

**問** 子どもセンター内の二階部分を発達支援センター（なかよし園）として活用するに至る理由と経緯について。  
**教育長** 現在、近津幼稚園の一部を利用しているが、3年保育の実施や大規模改修を予定しているため移動しなければならなくなり、子どもセンターの二階を改修して使用することとし工事終了後、平成29年度から利用開始をしていく。



危険を伴う蓋のないU字溝と横断歩道設置が望まれる

数によっては小学校での利用も検討している。  
**問** 町として子どもセンターをどのように考えているのか確認したい。  
**教育長** 子育て支援の拠点となる施設である。気軽に利用できる環境、体制を今後も整えていく。

**問** 観光案内板について  
**答** 関係機関と協議し、町の全体計画として検討する

**問** 町内にある案内板の点検や、修復をすべきだと思うが。  
**町長** 全町的に調査をし、修復の必要性も含め関係機関と協議する。

**問** 山本不動尊、八槻都々古別神社を案内する魅力的な大案内板を新設してはどうか。  
**町長** 観光案内板の設置にあたっては、必要性、見やすさ、景観との調和、安全性の確保などに配慮する必要があることから、設置場所や標記内容等も含め検討していく。

**問** 山本不動尊、八槻都々古別神社を案内する魅力的な大案内板を新設してはどうか。  
**町長** 観光案内板の設置にあたっては、必要性、見やすさ、景観との調和、安全性の確保などに配慮する必要があることから、設置場所や標記内容等も含め検討していく。

**問** 3年保育試行の現状と今後について  
**答** 実態に応じた環境整備をしていく

**問** 平成30年度の棚倉幼稚園の場合、現在の状況では教室が足りず絶対に無理が生じる。幼児教育の大切さを重んじる政策の中での試行であるはず。町民が納得できる試行であったと思えるような結果を期待しているが町としては環境整備についてどのような試行を現時点でしているのか。  
**教育長** 幼稚園、保護者等から現状の問題点や意見、要望を聞き、今後の入園児の推移を把握し、クラスの数、教諭、支援員の配置、環境整備について検討をしているところである。



藤田 光子

**問** 放課後児童クラブについてはどの様に考えているのか。  
**子ども教育課長** 1階のラビント図書館と物置として使用していた部屋を改修し使用する。利用人

石川県内灘町  
(10月18日)

平成26年度からタブレットパソコンを導入し、議員活動の円滑化とペーパーレス化による事務効率の向上と、資源確保に寄与しているとのことであった。（年間250万円の経費削減）  
また、通年議会の導入を行うため平成26年6月から通年議会の試行に入り、平成27年12月に通年議会の本格導入のための条例改正を行った。

通年議会の導入により議会が主導的に議会を開催することができ、月1回の常任委員会と全員協議会が開催されることになり議会運営の活性化につながっているとのことであった。

本町においても、初期投資はあるが、経費削減になるので、導入すべきものであると考えられる。



タブレットを使用している議会運営について説明を受けた

石川県中能登町  
(10月19日)

平成26年3月に中能登町議会基本条例を制定し、平成28年3月定例会で関係条例の制定と改正を行い、平成28年4月1日から通年会期制を導入し通年議会が始まりました。通年議会導入のメリットとして、以下の4点があげられた。

- ①会議の予見性
  - ②いつでも開催できる
  - ③議会の判断による開議
  - ④専決処分の抑制
- 通年議会の導入によって、月に1回の常任委員会、全員協議会を開催、委員会の報告を受けることで、議員全員が問題意識を共有できる。



通年議会のあり方について説明を受けた

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 鈴木 政夫 |
| 副委員長 | 蛭田 卓雄 |
| 委員   | 松本 英一 |
| 委員   | 藤田 智之 |
| 委員   | 佐川 裕一 |
| 委員   | 菊池 忠二 |

### 生まれ変わった、山岡小学校を全議員で視察



### 埼玉県伊奈町議会 総務建設産業常任委員会 来町

棚倉町の観光行政について質疑があり、活発な意見交換がなされました。